

ザリガニにカサゴにサメに!夏を満喫



野山に海辺に笑い声ははじけました。下はおとなしいトチザメ(ドチザメとも)

千葉YMCA ニュースボード

2020年9月1日 第256号

www.ymcajapan.org/chiba/

コロナ状況下でキャンプ

夏のプログラムが大卒終わりましたので、そのご報告です。

◆はじめてキャンプ①・② / Yキッズキャンプ@千葉市少年自然の家
→千葉市少年自然の家での1泊2日のキャンプが無事に終了しました。とても暑い毎日でしたが、ザリガニ釣りやキャンプファイヤーなど皆で楽しみました。

◆鴨川マリンキャンプ@鴨川青年の家
→鴨川の海で遊んだり、近くの磯で生き物を探したりしました!磯釣りにも挑戦して大きなカサゴやハゼを釣り上げました!野生のトチザメにも出会って子どもたちは大興奮でした!

◆大房岬ファミリーキャンプ
→美しい海と圧倒的な星空を今年は家族で楽しみました。夜は天の川も見えてYMCA大好きな子どもたちとご家族と一緒に楽しい3日間を過ごしました。

担当者感想:新型コロナウイルス感染症の感染対策などで窮屈に感じる場面は多々ありましたが、子どもたちがリアルな自然を感じるキャンプが実施できたと感じています。現在参加者アンケートが続々と戻ってきていますが、「このような状況だからこそ実施して欲しかったのでありがたかった!」という声が非常に多いです。(報告と写真:小林)

なお今年は福島の子を招待するフレンドシップキャンプは、感染症防止のため取りやめました。

◆民営化の動きと千葉YMCA

千葉市少年自然の家は15年前の開設以来、千葉YMCAがPFI方式の運営に携わってきました。そして今春から新たな5年契約で、指定管理の形でプログラム運営を担っています。

市や県では、他の自然の家・青年の家など公営の施設や、学童保育などの事業を、上記と同様に民営化する動きを見せています。YMCAではこの状況にどのように対処できるかを調査・研究しており、必要なときには新規事業に参入する所存です。もちろんYMCAの目的を見失うことなく、かつ採算を十分検討しての話です。

◆秋冬の行事 予定変更相次ぐ

インターナショナル・チャリティランは例年のような形では開かず、一種の「バーチャル」競技会で実施したい、とその具体案を練っています。

10月25日予定の千葉市少年自然の家「わいわいフェスティバル」は、形を変えて実施の予定です。(一部の方々にこの日は中止とお知らせしましたが、それは取り消します。)

◆「歌の会」は中止。「遠足」は実施

会員委員会で企画していた「歌の会」は、9月は開きません。

千葉ワイズメンズクラブ主催、会員委員会協賛の健康ウォーキング(原則奇数月第4土曜)は9月26日(土)に船橋アンデルセン公園へ。新京成線三咲駅11時集合、バスで行きます(弁当持参で)。現地集合も可です。参加希望の方はご連絡ください。

○千葉センター 043-222-3811

○船橋地域デポ 047-425-6366

○千葉市少年自然の家

0475-35-1131

ニュースボード編集:青木一芳(理事)

メール kkaoki@myad.jp